

全経上級168回の問題を解いてください。損益計算書の上から順番に考えていき、確実に加点していきましょう。

解説は有料講座にて行います

<割賦販売>

解答要求に戻り商品損失があります。

処理済みの戻り商品損失85,000円はどのように計算したかを考えれば簡単に回答は出ます

<委託販売>

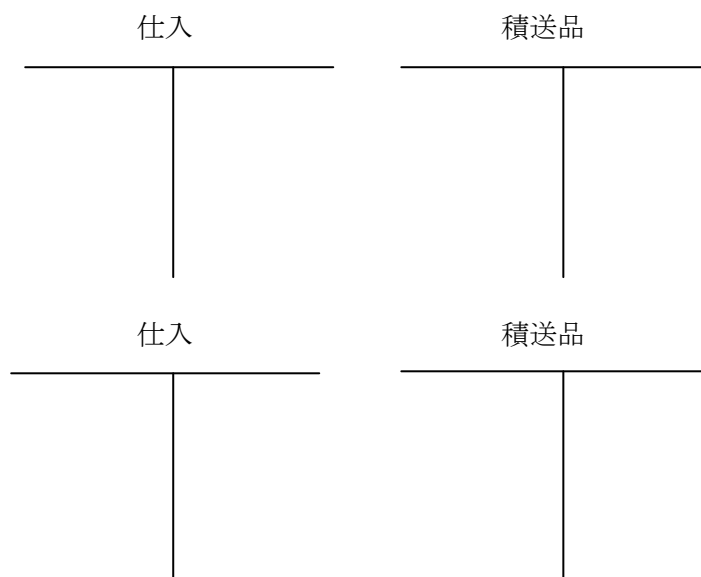
仕入と積送品勘定の流れを確認できれば簡単に当期商品仕入高は把握できる

(例)

仕入 100 / C 100

積送品 40 / 仕入 40

仕入 20 / 積送品 20



<試用販売>

利益率35%という事は原価率65%

原価97,500円という事は売価は  $97,500 \div 65\% = 150,000$

これは売上処理で振替える必要あります

<棚卸減耗費と商品評価損は2級レベルの問題>

<期末商品棚卸高>

手許商品の帳簿残高は簡単

積送品の残高は？

3/25日の売上計上により、期末の積送品残高は算出できます

試用品は対照勘定→対象勘定残高は未販売の売価をあらわす  
という事は原価率を乗じれば期末残高は算出できます

これを全部足してあげれば良い

まずは全経上級 168 回の問題を利用して、本支店会計の内容を理解しよう

<注意事項>

未達取引の（3）

支店が処理していた内容

（誤） 営業費 40,000 / 未払金 40,000

（正） 営業費 40,000 / 本店 40,000

（修正仕訳） 未払金 40,000 / 本店 40,000

未達商品の決算振替

繰商 165,000 / 仕入 165,000

（ここで本店より仕入 a/c を使わない。支店へ売上と相殺できなくなる）